

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 大規模地震災害対策</p> <p>【質問趣旨】 南海トラフ地震の発生により、本市は震度5強、一部地域で震度6弱との予測がされている。被害についてはあまり大きな予測はされていないが、近年は予想外の災害も発生しており、備えが不十分なことにより被害は拡大する。災害が起きることを防ぐことはできないが、事前の対策、発災時の対応により、被害をできるだけ小さくすることは可能であり、重要と考えることから本市の災害対策について伺う。</p>	<p>(1) 災害対策拠点の機能強化</p> <p>(2) 災害情報の収集と情報発信体制の整備</p>	<p>①災害対策を推進するにあたり、自然災害等の危機管理についての知識や経験を有する人材の確保・育成など危機管理を担う人材についてどのような見解か伺う。</p> <p>②現在、地域の災害拠点である地震災害の指定避難所については、停電に備えてLPガス・ガソリンを燃料とする発電機がある。非常用電源設備の強化として蓄電システムの導入についてはどのような見解か伺う。</p> <p>③刻一刻と変化する災害情報の収集にあたっては情報の正確性を確認することが難しく、収集した情報の正確性の精査に時間がかかるとも言われる。本市ではデジタルタワーに設置されている消防高所監視カメラなどを活用する等あるがドローン等を活用した収集方法についてはどのような見解か伺う。</p> <p>④災害時には避難所、道路、ライフラインの状況など、身近な情報が必要となる。本市にはコミュニティーFMがあることから、これをフルに活用することで、多くの市民への情報提供が可能となると考える。令和4年度中に難聴地域の解消、防災情報伝達システムの導入を行う予定となっているが進捗を伺う。</p> <p>⑤障害のある方やご高齢の方は情報弱者になりやすいと考える。プッシュ型の「自動発信電話システム」やご自身で情報を取って頂く「テレフォンサービス」についてどのように検討されているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 被災者の健康と避難環境	<p>①本市は市内事業者と災害時における食品・食料・生活必需品等の確保に関する協定を結んでいる。この協定により本市が食品・食料・被服・下着・寝具・衛生用品・防災に関する資機材など事業者の調達できる範囲内で物資調達の協力を要請することができるが、調達した後、これらを迅速に届ける体制について伺う。</p> <p>②避難所でのトイレ問題は避難者の健康に大きく関わる。本市では災害時に下水道管路にあるマンホールの上に簡易のトイレ設備を設ける「マンホールトイレ」については市内で14基の設置が可能となっているが、多くの避難所等では持ち運び可能な簡易型の「ポータブルトイレ」が計377台用意されている。臭いや使用後の処理など衛生面の課題についてはどのような対策をお考えか伺う。</p> <p>③多くの避難者が想定される大規模災害時には震災時の指定避難所となっている学校の体育館だけでは、医療・介護・乳幼児などに必要な場所、また更衣室等の確保も困難と考える。必要であれば学校校舎の利用も可能となっているが、必要な時にスムーズな利用が可能となるよう、校舎やグラウンドなど学校施設の利用について事前に協議すべきと考えるが、どのような検討がされているか伺う。</p> <p>④災害により交通機関の停止や交通渋滞などが発生した際は、むやみに移動せず、一時的な退避が望まれる。本市は観光客誘致を推進しているが、多くの観光客等が災害に遭遇し帰宅困難となった場合に備え、「一時滞在施設」の指定や支援についてどのような対応となるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑤ライフラインの途絶えた中、障害のある方や高齢者、ペット同伴の方など、何らかの理由で在宅避難や車両での避難を選択されることも想定される。このような方々については、被災状況が伝わらず公的支援が届かないことがある。どのように把握し、支援するか伺う。</p> <p>⑥避難者の中には余震等に対する自宅の安全性の不安から避難所へ避難する方もいる。被災建築物応急危険度判定や被災宅地危険度判定を迅速に実施することで、安心して自宅へ戻ることが可能になると考えるが、対応についての見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。